

金鷲旗・玉竜旗

金鷲旗高校柔道大会、玉竜旗高校剣道大会は1916年（大正5年）に福岡県下27校の参加で始まりました。全国でも珍しい「抜き勝負」によるトーナメント制とオープントーナメント制を採用していることが特徴となり、柔剣道のトップ選手の多くが高校時代に出場し、あまたの名勝負を生んだ大会です。スポーツ振興や教育支援といった社会貢献活動として企業イメージの向上や、若年層をターゲットとした認知拡大に有効です。



協賛メニュー例

- ・紙面、チラシ、パンフレット、会場内看板等への社名表記
- ・パンフレット内広告掲載
- ・チケットのお渡し など